

LIFE

LIGHT

LOVE

2019 年度 宗教活動報告書

Christian Activities of TOHOKU GAKUIN

第 1 号



その人は流れのほとりに植えられた木。
ときが巡り来れば実を結び 葉もしおれることがない。
(詩編 1 : 3)

東 北 学 院 大 学
東北学院中学校・高等学校
東北学院榴ヶ岡高等学校
東 北 学 院 幼 稚 園

発行日 2020 年 10 月 1 日

東北学院宗教センター

宗教センター編「東北学院宗教活動報告書」の発行にあたって

東北学院宗教センター所長（院長・学長） 大西 晴樹

学校法人東北学院が設置する学校は、東北学院大学、東北学院中学校高等学校、東北学院榴ヶ岡高等学校、東北学院幼稚園の4校ですが、長らく各校のキリスト教活動を概観できる一冊の報告書が発行できることを願ってきました。この度、2020年4月より東北学院宗教センターが開設され、いよいよその願いをこのセンターの働きの一つとして実現していくことに致しました。

各校は、その特色も、設置場所も異なり、それぞれが独自にキリスト教活動を行ってきましたが、学院全体の宗教活動を包括する組織が出来たことは画期的なことであり、また幼・中・高・大と一貫教育が施されることは昨今の教育界の要請でもあり、本院の望むところです。

会議体としては、年に2回開催される宗教協議会で設置各校の宗教教育の代表者がキリスト教活動を報告しておりますが、報告書を公に発行しているのは大学の宗教部だけです。今後、宗教センターが学院全体の宗教活動を把握することで、本院の建学の精神の実現とまた意思の疎通をより円滑に進めることを願っております。

新型コロナウイルス感染対策を施しながら始まったばかりで、宗教センターの活動は、まだ小さなことしかできませんが、それでも所長を含む3名が7月中旬に各校を訪ねて、第一回目の祈祷会とその後の懇談会を開くことができました。初年度は、各校における2回の祈祷会とこの報告書の発行、本院のスクールモットーである「いのち・ひかり・あい」というタイトルのニュースレターを出版する予定です。他の活動としては、ホームページを開設することと、水曜公開礼拝関係の活動を引き継ぎます。

宗教センターが目標とすることと、実際にこれから出来ることの間にはまだ隔たりがありますが、何よりもセンターの活動が始まり、センターで編集した「宗教活動報告書」が発行されることは東北学院の長いキリスト教教育の歴史の中でも初めてのことです。

宗教センターの活動に皆様からの御意見、御要望をお寄せいただき、また御支援を賜りたいと願っておりますので、どうかよろしく願い申し上げます。

目 次

巻 頭 言

宗教センター編「東北学院宗教活動報告書」の発行にあたって

東北学院宗教センター所長（院長・学長）大西 晴樹 …… 1

第 64 回教職員修養会報告

開会礼拝奨励 『おぼろに映ったものを』

前理事長・院長 松本 宣郎 …… 5

主題講演「聖書に聴く」『達人に学ぶ祈りの奥義』

学校法人西南学院理事長・院長、西南学院大学学長 G. W. バークレー …… 9

朝拝『あなたは愛されている』

学校法人西南学院理事長・院長、西南学院大学学長 G. W. バークレー …… 17

2019 年度 東北学院宗教活動報告

法人事務局 …… 23

大 学 …… 27

東北学院大学研究ブランディング事業 水曜礼拝—大学公開礼拝— …… 39

中学校・高等学校 …… 43

榴ヶ岡高等学校 …… 47

幼稚園 …… 51

2019 年度

第 64 回教職員修養会報告

第 64 回東北学院大学教職員修養会プログラム

日 時 2019 年 9 月 3 日 (火) ～ 9 月 4 日 (水) 1 泊 2 日
会 場 アクティブリゾート宮城蔵王 (旧: 宮城蔵王ロイヤルホテル)
〒989-0916 宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字鬼石原 1-1 TEL: 0224-34-3600

主 題 『聖書に聴く』
講 師 学校法人西南学院理事長・院長、西南学院大学学長
G. W. バークレー先生

9月3日 (火)

9:00 土樋キャンパスホーイ記念館西側より送迎バス出発
10:00 受 付
10:30 開会礼拝 説教: 松本 宣郎先生
学長挨拶
講師紹介
11:00 講 演 演題: 『達人に学ぶ祈りの奥義』
講師: G. W. バークレー先生
12:00 質疑応答
12:25 オリエンテーション
12:30 昼 食
13:15 各部屋チェックイン
14:00 グループ懇談『講師講演をめぐって』
16:00 全体懇談 演題: 『鈴木義男と東北学院
——何を評価し、学び、継承すべきなのか?』
担当: 松谷 基和先生
18:00 夕 食
19:30 自由懇談 「講師を囲んで」(参加自由)

9月4日 (水)

6:30 朝 食
チェックアウト
9:00 朝 拝 説教: G. W. バークレー先生
10:00 全体協議・報告会
司会: 原田 浩司先生
12:00 閉会礼拝 司式: 野村 信先生
閉会挨拶
12:30 昼 食
13:30 ホテル前より送迎バス出発
14:30 土樋キャンパスホーイ記念館西側送迎バス到着

第 64 回東北学院大学教職員修養会開会礼拝奨励

【開会礼拝】

讃美歌：第 546 番

聖書：新約聖書 コリントの信徒への手紙 I 第 13 章 4 節～ 13 節

説教：『おぼろに映ったものを』

讃美歌：第 453 番

司会 大学宗教主任 吉田 新

〔新約聖書 コリントの信徒への手紙 I 第 13 章 4 節～ 13 節〕

愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。

愛は決して滅びない。預言は廃れ、異言はやみ、知識は廃れよう、わたしたちの知識は一部分、預言も一部分だから。完全なものが来たときには、部分的なものは廃れよう。幼子だったとき、わたしは幼子のように話し、幼子のように思い、幼子のように考えていた。成人した今、幼子のことを棄てた。わたしたちは、今は、鏡におぼろに映ったものを見ている。だがそのときには、顔と顔とを合わせて見ることになる。わたしは、今は一部しか知らなくとも、そのときには、はっきり知られているようにはっきり知ることになる。それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。

『おぼろに映ったものを』

前理事長・院長 松本 宣郎

暑さがなお続いている中、夏休みの終わりのリトリート、修養会の時を迎えました。私にとっては、東北学院に勤めてから7年目の修養会です。多分2年目の時から、この開会礼拝を担当させていただいていると思います。大変光栄なことだと感謝しています。聖書に聴き、祈りをもって、皆さんと共に修養会を始めたいと思います。

さて、この7月末、キリスト教学校教育同盟の大学新任者研修会の講師に招かれ、「歴史の中のキリスト教大学」と題して話をしました。私自身、古代キリスト教とか、ローマ史を研究したので、講演の主題はいつもこんな感じなのです。そこでは古代の話もしましたが、プロテスタントの学校教育同盟ですから、東北学院を含めた日本のキリスト教学校の教派の話もしました。

ヨーロッパ中世を通じてカトリックの一枚岩だったキリスト教に、マルティン・ルターが批判ののろしを上げ、それが宗教改革となっていったことはご承知の通りです。この宗教改革は、プロテスタンティズムにとっては「ビッグ・バン」を意味したといって過言ではありません。ルターが問題提起してから以後、まるで堰を切ったかのように、カルヴァンが、ツヴィングリが、福音や聖書、教会について自説を論じ、これに従う者たちが教派を形成しました。彼らがヨーロッパから新大陸、アジア、アフリカへと宣教し、日本にもその波は達しました。ルターが、教会は学校をもつべきだと主張したことはよく知られています。これにならったのかプロテスタント各派は宣教した世界に学校を設けていきました。ドイツとオランダのカルヴァン派、これは改革派、長老主義とも呼ばれますが、その系統の教会から派遣された宣教師、ホーイ、シュネーダーらによって仙台に建てられたのが東北学院です。

研修会では日本のキリスト教学校の母体である諸教派について、たとえば青山学院、関西学院はメソジスト、同志社は組合、西南学院や尚絅学院はバプテスト、立教は聖公会、などと紹介しました。皆さん自分が勤める学校の教派については知っていても、他の学校のことはよくご存知ないようで、興味深そうでした。

このように、プロテスタントの教派は「ビッグ・バン」以後急速に増えました。日本では一頃国家の政策でプロテスタント各派が強制的に合同させられて教団をつくりましたが、そこには33の教派が存在したということです。今日の日本のキリスト教学校がそれぞれの教派の信仰に立つ建学の精神を大切にしているのは言うまでもありませんが、教育現場や教職員の職場でその教派的な特色を意識しているかかどうか、については様々でしょう。東北学院は建学の精神を堅く守ることを高く掲げていますが、実際のな面では、そのことは各学校の礼拝の重視、に現れています。それは聖書と祈りが大切にされることであり、学院内の会

議では必ず黙祷をもって始めるのも同じ理念からであります。

もう一つ、東北学院大学がとりわけ大事にしてきたことがあると思います。それは学長であれ理事長であれ、トップが決定するに際して、必ず周囲の人たちとの合議を踏まえている、ということです。この慣わしは、東北学院の教派、カルヴァン派の別称「長老主義」が教会の中枢に「長老会」を置き、牧師も加わるこの合議体で重要事項を決定する、という伝統を受け継いでいると言えると思うのです。現在進行中の大学の五橋キャンパス構想も、そのように進められているわけです。

これらのことを念頭において、東北学院が大切にしてきた聖書に聴きたいと思います。わかりやすいモットーとして「地の塩、世の光」が語られてきました。また、もう一つのことばは、Life, Light, Love 訳せば「いのち、ひかり、愛」であります。今日はパウロが記す、「愛」を少し深く考えてみたいと思います。

「愛する」ことの大切さは、キリスト教以前のレベルでもよく認識されています。ましてや私たちは、キリストが私たちを愛し、私たちは隣人を愛すること、など、聖書の言う愛についても知っています。教育機関である東北学院は学生・生徒・園児・教職員、要するに人間の共同体です。奉仕し、慈しみ、寛容をもって互いに接するように、と折に触れて勧められてきたはずで、それが聖書のことばに基づいていることは明らかです。

今日読んだ聖書は、パウロが記した「愛」です。力強いこの「第一コリント」13章の部分は「愛の賛歌」とも称されます。「愛は忍耐強い」から始まって、13章13節「信仰と、希望と、愛、…その中で最も大いなるものは、愛である」で最高潮に達します。

世間一般に「愛」は良いもの、うるわしいもの、と平板に解釈されています。しかしこのパウロ書簡の箇所を、信仰の目をもって読むならば、安易に「愛をもって生きる」ことは並大抵ではないと気づかされるのではないのでしょうか。それにパウロのいう「愛」には二つのフェイズがあるようにも見えます。まず4節から7節まで、主語は「愛」ですが、これを、私たちが愛を実践するにはどのような生き方をなすべきか、という捉え方で読むことが出来るでしょう。「忍耐強く、情け深く、ねたむことをせず、礼を尽くして接し、利益を求めず…」、そのように他者を愛しなさい、というのです。意外にも私たちの感情や行為を禁じる教えが目立ちます。上に続けて「いらだつな、恨みを抱くな、不義を喜ぶな」というのです。積極的な行為の勧めも確かにあります。しかし主となるのは否定の強調です。さらに気づかされるのが、「忍耐」という言葉です。「忍耐強い」(4節)、「すべてを忍び」「すべてに耐える」(7節)と並びます。この3語はギリシア語原典では面白いことにみな違う言葉ですが、日本語聖書も苦心して訳し分けていることがわかります。

私たちは他者と共に生きてゆくのですが、愛をもって生きよと命じられているのです。しかし、私たちはともすれば自分を愛し、自分の利益を第一に考えます。だから、他者を真実に愛することを困難に感じるものです。ここには人間の本質的な弱さ、つまりは「罪」が関

係しているのです。それだけにパウロは、私たちが「愛」を実践するには、まず何より自己中心性を抑えることをしなくてはならない、だから、「求めるな、…喜ぶな、ただ忍び、耐えよ」と消極面を強調するのでしょう。

8節から急に言葉の空気が変わります。「愛」というものは不滅で崇高で、信仰や希望という価値よりもはるかに偉大なのだ、という論調になります。そして「わたしたちの知識は」部分的だ、つまり完全ではない、と言います。しかし「完全なもの」はいずれ来る、のです。ここで人は、ただ愛の実践だけでなく、神への信仰についてもまだまだ不十分で、神の計画のごく一部しか知りえない段階にある、と記されます。しかし、私たちは次第に、おぼろなものを通り抜けて、物事がよりよく見える明るい方向へと進んでゆくことも示唆されています。このことは最後にまた触れたいと思います。

その前に、先ほど言いました「フェイズ」のもうひとつです。今まで「愛」を人として実践するという視点から見てきました。それが第一の、「人の」フェイズだとすると、第二は「神のフェイズ」となるでしょう。そもそも4節の「愛」を「キリスト」と読み替えるとそのことが明確になります。キリストは私たちを徹底的に愛してくださる、だからこそ、どんな人間の不信仰な行いに対しても忍耐し、愛し尽くされる、と。確かに、このようにキリストが私たちを愛してくださるのだから、私たちも、そのように隣人を愛するのだと言うことがよく分かるのです。

8節から13節も「神のフェイズ」から見ると、いかに大きな愛が貫かれているか、が私たちが圧倒するのではないのでしょうか。壮大な神の計画の Spannにおいて、人間的な営みはすべてこざかしく卑称で、はかなく、すぐ無に帰してしまふ。しかし神の「愛は決して滅び」ず、「いつまでも残る」のです。私たちが愛し続けられるのです。しかも私たちには慰めがあります。すでに見た通り、私たちは部分的で、幼子のように未熟でも、成人へと大きくなっていくことが許されているのです。

東北学院も、人間の営みでありますから、まさにこの「鏡におぼろに映ったものを見ている」状態にあるのです。しかし成長していけます。徐々にではあるにせよ、おぼろを脱して、次第にはっきりとした姿ですべてが見えるようになっていくのです。

東北学院は長老派プロテスタントをルーツとすると初めにお話ししました。その長老派の教会観がまさにこのことと関わりがあります。長老派は「改革」という言葉を掲げます。それは、現在この地上にある人間たち、彼らが属する教会は不完全なものであって、天にある神の教会を目指して絶えず神によって改革される教会 Church being reformed でなければならない、というのです。今日の聖書のことばです。今はおぼろな、頼りない教会だけれども、集う者が神を信じ、教会を整えることによって、はっきりとした形の教会となり、天の教会に近づいていける、というのです。

東北学院大学も同じだ、と私は信じます。新しい学長が与えられ、改革が着手されました。

今はまだその完成の姿は、五橋キャンパスがまさにそうですが、おぼろにすら見えない状態かも知れません。しかし、私たちは前進します。おぼろは次第に晴れて、新しい形がはっきりと見えてくることを確信しましょう。建学の精神に堅く立ち、はたらく私たちは互いに愛をもって仕えつつ歩んで参りましょう。

祈ります。

神さま、2019年のこの年も私たちが修養会、リトリートの時をもつことが出来たことを感謝いたします。どうか私たちが愛をもってはげみ、おぼろで不完全なこの世界のこの大学を前進させ、よりよいものへと改革して下さいますようお願いいたします。どうぞ東北学院の上に豊かな慈しみを注いで下さいますように。

よき講師を修養会のために遣わして下さいましたことを感謝いたします。集った教職員たちに良き学びをさせてください。そして実りある交わりの時となりますように。

これらの願いと感謝とを東北学院の真の造り主である主イエス・キリストのみ名によって御前にお捧げいたします。

アーメン

主題講演「聖書に聴く」 『達人に学ぶ祈りの奥義』

学校法人西南学院理事長・院長、西南学院大学学長
G. W. バークレー

さて、まず、古代教会における祈りの先達たちについて学び、彼らの人生からヒントを得たいと思います。彼らは、「荒野の修道者たち」と呼ばれています。荒野の修道者たちとは誰でしょうか。そこからまず見ていきましょう。実は、彼らはローマ帝国によってキリスト教が公認された後で現れました。キリスト教がローマ帝国によって承認され、国教とされるに伴って、誠実なキリスト者の心を痛めたことが二つありました。その一つは、迫害が終わると同時に殉教もなくなり、クリスチャンたちにとってキリストに対して命を捧げて仕えるという信仰が過去のものとなったという点です。あるキリスト者は、そのような形で試みられることのなくなった「ぬるい」信仰に失望しました。また、迫害時代のクリスチャンにとっては生き延びることが最大の課題でしたから、熱心なクリスチャン生活を過ごすには困難が伴い、迫害が終わりを告げる紀元 400 年代に入る頃までそれはできませんでした。これが一つ目の理由です。

誠実なクリスチャンの心を痛めたことの第二の点は、ローマ帝国によって、国教とされ保護されるようになったキリスト教の問題でした。（そしてこれがもっとも重大なことだったのですが）これが良心的なキリスト者の心を痛めました。ローマ皇帝コンスタンチヌスの、キリスト教への回心が教会の墮落を招いたとさえいえるほどです。そこでは、初期のクリスチャンに求められていた清い信仰は妥協され、奪われました。たとえば、クリスチャンはそれまで軍務につくこと（軍隊で働くこと）または公共機関で働くことも許可されていませんでした。しかし、国教化された後では、人々はそのような場所でも働くことが公認されました。それに乗じてクリスチャンはそのような役職を手に入れるよう必死になっていきました。最初の修道者たちは、このような教会の世俗社会への迎合の行き過ぎを憂い、教会がキリストに召された者たちの体であるよりは、この世の集まりの一つに過ぎなくなったことを憂いました。

教会内の聖化と訓練は、心あるクリスチャンにとっては彼らの救いと関わっていたため、これは重要な関心事となりました。そこで彼らは、心の清めと魂の救いを求めて出ていったのです。彼らの目的は、この世界を無視することではありませんでした。しかも、その荒れ

野はゆっくり静養する場所というよりは、葛藤の場でもありました。魂の救いこそ、彼らが求めて出ていった理由だったのです。

今日はそれらのキリスト者たちの中から、アバ・アルセニウスを中心に三人の方についてみてみましょう。アルセニウスはローマ市民で高い地位を持ち、教育を受けた人でした。彼はローマ皇帝の息子アルカヂウスとホロニウスの個人教授を務め、テオドシウス皇帝の宮廷に出入りしていました。彼はこの宮廷にいた時から、神に次のように祈っていたといわれています。「主よ、私を救いの道に導いて下さい」と。すると、「アルセニウスよ、この世を逃れていきなさい。そうすれば救いがある」という促しを与えられました。彼はこれを受けてローマからアレキサンドリアに秘密裡に出航しました。そしてもう一度彼は、「主よ、私を救いに導いて下さい」と祈ります。すると今度は、「アルセニウスよ、逃れよ。静まれ。絶えず祈れ。これらは罪なき人生の源である」という言葉を聞きました。彼がその心に聞いた「逃れよ。静まれ。絶えず祈れ」——この三つの言葉は、荒野の祈りと健全で精神的な姿勢を要約する重要なものです。「逃れよ。静まれ。絶えず祈れ」です。これを祈りの奥義として一つずつ学んでいきましょう。

まず、「逃れよ」です。私たちはこの世から自由になるべきです。これは私たちにも当てはまりますね。この世の多くの人々が求める事柄、権力、名声、栄誉が人生において絶対的ではないことを皆さんは感じておられると思います。それに、いったん教会の外に出れば、(幸いなことに)クリスチャンであることによって得られるこの世的な特権、富、名誉なども「有るか無いか」が現実です。

私たちは、アルセニウスのように荒野に出ていくことはしませんでした。神に愛されていることを知り、この世の期待から逃れ自由になりました——これからそうなる方もいらっしゃるでしょう。しかしどうでしょうか。私たちの人生において、教会において、この社会が要求するものと同じ影響の中に今も生きていますね。たとえば、あなたはどのように自らの成功を規定していますか。人生の成功とは何でしょうか。成功している私、または教会とは何でしょうか——。

一般社会における成功は、会社であれば、ふつう会社の規模、収入の実績、そしてマーケットシェアで計られます。これと同じく、ほとんどの場合、教会の成功は、会員数、献金高、そしてその地域の他の教会より多くの会員が集ってきていること(これは、ビジネスの世界のマーケットシェアそのものだと思います)となりがちです。教会の成功不成功でさえも、この世のメジャーと同じ方法で計られているのです。個人の場合もこれに似ています。

ちょうど、古代の荒野の修道者たちがこの世界を「難破船」と理解し、その災いから逃れる必要性を感じたように、私たちもこの世の物差しから自由になる必要があります。そのために「逃れよ」と私たちにも聞こえるでしょうか。

アルセニウスが聞いた第二の言葉は、「静まれ」です。皆さんの中で「忙しい」と感じておられる方はどの位いらっしゃるでしょうか。また、多くの方は「時間が足りない」と実感

しておられるでしょうか。

このような生活から自由になる唯一の方法は、静まること、すなわち、静寂を求めることです。ヘンリー・ノーエンは静寂を「聖化への試練」とであると語りました。静寂は単に、この世の雑事や煩いから離れるだけではありません。また、単に身体的に、または霊的に、力を得たり充電したりするものでもありません。

荒野に逃れた人たちにとっての静寂は回心を意味しました。静寂において、人は古い自己が死に、新しい自己が再生されます。彼らはこれをしばしば「池」のたとえで説明します。池は、時には嵐や投げられた多くの石などでかき回され、泥の池になります。けれども、しばらくの間静かにしておくと、泥は下に沈み、水は再び澄んできます。

これが、私たちが静寂を求める時に起こることです。この世のあらゆることから一時的に自分自身を切り離す時、私たちのエネルギーを奪っていたこの世の心配や仕事は私たちの中に沈みます。そして、魂が清められ、澄んできます。神の前の自分を知り、人生の焦点がはっきりしてきます。私たちのどこをどのように変えるべきかが澄んできます。そして、神は(ふつうは) ゆっくり、優しく私たちを変えられます。しかし、まず、私たちが静寂を求めて、自らを自由にすることが無くてはなりません。荒野へ出た人が中心的に論じていることは、「静寂」という場において魂の救いがもたらされるという確信です。

さて、アルセニウスが聞いたこの第二の言葉、「静まれ」に比べて、私たちの世界は騒々しく、言葉の洪水に見舞われています。どちらを向いてもあらゆる標示が目につき、電光板は休みなく言葉を送り、テレビ、ラジオ、コマーシャル、皆がそうですね。音の洪水の中で私たちはおぼれかけています。私たちの静まる時、静寂の時はあるのでしょうか――。

さて、「静まれ」と言う時、「沈黙」が静寂を全きものとし、真実なものとすることは明らかです。そして、そのような静寂こそ、現代の私たちの祈りの生活に求められていると信じます。このことについて、古代の修道者の一人マカリウス修道院長のことをお話します。マカリウス修道院長が礼拝の最後の祝福の後で語った言葉です。彼は修道者たちに向かって、「さあ、兄弟たち。飛び立ち逃れていきなさい」と語りました。すると一人が、「院長様、これ以上どこへいくのですか。私たちは荒野にまで来ているのですが」と答えました。すると彼は、人差し指を唇に当てて沈黙するよう示し、「これから逃れていくのです」と語ったと言われています。そして彼は自分の部屋に帰り戸を閉じたと伝えられています。アルセニウスも、「私は、黙すべき時に語り続けていたことをこれまで何度も悔い改めています」と語っています。

アルセニウスが聞いた二つ目の言葉、「静まれ」は私たちの一週間の日常生活においても最も重要なことであると思います。私たちの耳や心、そして精神がこの世のあらゆる言葉と音で占められている時には、生ける神の言葉は耳に入らないからです。

その昔、この世界がまだ無かった時のことを思い出してみましょう。神は世界創造に当たって、沈黙の中から言葉を語って全てのものを存在せしめました。この一大創造を可能にした

創造の言葉は、神の沈黙から出ていることを知りたいと思います。ましてや、「私たちの言葉」、それは私たちの沈黙の結果でありたいと願います。荒野へと赴いた古代のキリスト者たちは、神の沈黙に自らも預かるため出かけていきました。それを通して根源的に人を癒しうる言葉を語る者へと生かされるためです。神と共にある沈黙の中から私たちの言葉が発せられる時、別に多くの言葉ではなく、わずかを語ることで全てを語る者へとされます。このことから「静まれ」が静寂と沈黙を意味することを学びました。

ところで、もし、「静寂」が忙しい毎日からの逃避であり、「沈黙」が騒がしさを毛嫌いするだけのものでは、それは単なる自己目的の追求に終わります。しかし、静寂はただ孤独になることではなく、神と共にあること。また、沈黙は黙るだけではなく、神に聴くことであることを修得しましょう。

アルセニウスの命題の三つ目は、「絶えず祈れ」です。ギリシヤ語の「絶えず祈れ」は hesychia で、(アルセニウスはギリシヤ語でこの言葉を心に聞いたと思うのですが) この文字通りの意味は「来たりて休め」という意味です。毎日の闘いの厳しさの中で神にあって休むことです。

ところで、アルセニウスは「絶えず祈れ」という促しを三つ目に聞きましたが、キリスト者であれば、祈りの重要性は誰でも認めることだと思います。人生における祈りの重要性はよく知られています。ただ時間が取れないことを除いて、それは明らかです。この点についても、荒野に出ていった人たちは、私たちに向かって祈りの重要性を意味深く教えてくれます。それでは、まず、「絶えず祈れ」の後半の言葉、「祈れ」について先に考えてみましょう。

私たちにとって、スケジュールに追われる日常はある点では恐ろしいものです。ですから、祈ることからくる神の全き休みが経験できれば、どれほどすばらしいか計り知れません。「それはいない」という人はいないと思います。そのために、今日は二つの提案をしたいと思います。これも私が荒れ野の修道者から学ぶことです。

まず一つは、祈りの意味を再び問い直すことです。祈りは、ふつう、(1) 神に向かって語る、または、(2) 神について考える(瞑想する)こととされます。しかし、この二つは、最終的には私たちを満たさないでおくか、祈ることさえも止めるようにしてしまいます。何故でしょうか。

神に向かって語るだけの祈りは、一人言に過ぎず、そこでは神に心配事や願いを語るだけで、また元の仕事へ戻るといったパターンがとられます。願いが捧げられますから、答えが期待されます。「答えがない」、「期待通りに事が起こらない」ということがあります。この時、私たちは結局のところ、祈りは自分に向かって語っていただけであるとどこかで結論づけて、祈りそのものを諦める(無視する)ようになります。私たちの存在の深い所においてです。

第二の祈りの意味付けは、それを神について考え、瞑想することと定義して実践することです。「神について瞑想しなければならない」となると、それは私たちの忙しさにもう一つのリストを加えることとなります。会社、学校、子育て、介護などの忙しさにもう一つ、毎

日神を思うという項目を加えることになります。すると、スケジュールが更に込み合うようになります。そして、このような祈りも結局諦められて無視されます。

荒野に逃れた人々によって、私たちに今示されるまことの祈りとは何でしょうか。彼らはこれを「心の祈り」と呼んでいます。まず、祈りは心から出るものですが、この祈りは必ずしも知的な活動を前提とはしません。祈りは知性の働きに必ずしも依存しないということを知ることが一つだと思います。もし、言葉通りの意味で「心の祈り」をしたいならば、「祈り方を習う」ということは第一の事柄ではありません。

「心の祈り」とはまず、一切の願いを持たず、言葉も語らず、神の前に自分自身を置くことです。それによって神ご自身が私たちに満ちて下さる、または覆って下さるためです。スケジュールや、心の中の隠し事全てが神の前で取り払われ、あるがままの自分が一人で神の前にあることです。そこでは神に全く依存する者であることが知られ、神の深い愛と恩寵が祈る毎に私たちに与えられます。そして、神に休むこと、救いが神にあることが完全に分かる中に満ちてくるようになります。キリスト者の信仰暦、献身度、熱心さ、自己犠牲などは全く関係ありません。

このような祈りのあり方を現代人に奨めることが難しいのは、そのすばらしさに比べて、それがある意味では「いとも簡単」なところにあります。誰でも出来ることに私たちは疑い深くなっているからでしょう。

それでは、最後に、「祈れ」の前の「絶えず」について学びましょう。止むことなく「絶えず」祈る祈りとは何でしょうか。ここに荒野の修道者たちについての一つの話があります。この話は、絶えず捧げられる「まことの祈り」について語っています。この話は、私が是非皆様さんと分かち合いたいものの一つですのでお聞きください。荒野の修道者の中には、ミサリアン派と呼ばれた修道者の一団がありました。彼らは、常に祈るためには、ふつうの仕事はせず、祈りに専心すべきであると信じている一派でした。

この一派の人々がある時、この問題について答えを得るために、年老いた荒れ野の修道者アバ・ルシウスを訪ねました。ルシウスは彼らに向かって、「あなたは何をして生活をしていますか」と訪ねます。すると、彼らは胸を張って、「私たちは使徒の言葉に従って絶えず祈ることに専心しているので、仕事はしていません」と答えました。すると、ルシウスは、「絶えず祈っていると云われますが、それでは、あなた方が食事をしている時や寝ている時はどうするのですか？」と聞きました。彼らは答えに困りました。するとルシウスは次のように語ったのです。「お許しいただいて、申したいことがあります。皆様はどうも言っていることをその通り実行しておられないように思います。どうすれば解決するか、私のやり方をお教えしましょう。私はふつうの仕事をしながらでも、別に邪魔されることなく絶えず祈っています。まず、神と共に座って、藁を水に漬け、縄やごさを編みます。そして、『神様、あなたの果てしない恵みによって私を憐れみ、私をお救い下さい』と祈っているのです」と。ルシウスが、「これは絶えず祈ることに入りますか？」と尋ねると、彼らは「その通りです」

と答えました。ルシウスはまた、「それで、縄やごぎを作って一日が終わった後、もしそれに対して 13 枚の銀貨を支払われたら、どうすると思いますか。11 枚で自分の食べ物を買って、残りの 2 枚は戸の外に置いておきます。私にご飯を食べている時、そして寝ている時、この 2 枚の銀貨を見つけた人はきつうれしくて飛び上がって喜び、その人のその夜の祈りで私のことを祈ってくれるでしょう。私は『絶えず祈れ』という言葉通りに生きていますかな?」と言いました。ルシウスは、まず、働いている時も祈る秘訣を学んでいました。そして、他の人の祈りをも自分の祈りに加えることで、絶えることなく祈る生活をしていました。祈りの知恵とユーモアに満ちた、いい話ですね。祈りの奥義に通じるとはこのようなことを言うのでしょうか。

先程、「静寂」について語った時に「池」の例を話しましたが、荒野の修道者は祈りとの関係でも「池」について話します。嵐や石などで乱された池は澄んでおらず、池の回りの風景やのぞき込む人をきれいに水面に写すことは出来ません。池の水面を静かにすることを必要とします。しかし、ただ静寂と沈黙によって泥が沈むだけでは十分ではありません。そこに神の形を表すためには「絶えざる祈り」が求められます。

これを成すにはどうすべきでしょう。一つの例を参考までにご紹介して終わりたいと思います。これは『The Way of the Pilgrim』という本の中に語られている例で、信じられない程簡単で、しかも素晴らしい方法です。物語は次のような内容です。ロシアの貧しい農夫の祈りの証しです。この方もまた祈りの奥義に触れた人です。

「皆様に私のことをお話ししましょう。神の恵みにより、私はクリスチャンとなりました。しかし、行為においては罪人の頭であります。ペンテコステの後の 24 回目の日曜に、祈りのために教会に行きました。テサロニケの信徒への手紙が読まれ、特に「絶えず祈りなさい」という言葉が示されました。しかし、私は、『人は生活の心配などもしなくてはならないのに、どうして休むことなく祈れるのだらう』と考えたのです」この農夫は教会を巡礼しながら、このジレンマへの答えを求めました。説教もたくさん聞きましたが、納得のいく答えがありません。しかし、ある日一人の修道者が彼にその秘訣を話してくれました。「絶えざる祈りとはいつも神をお慕いすることです。しかし、そのためには、何よりも神様に『絶えず祈るとは何かを教えて下さい』と絶えず祈ることが大切なのです。この祈りを重ねていく時、実は祈りそのものが、どのようにしたら良いかを教えてくれるものです。いつの日か、必ず分かる日がきますよ」と。

そして、彼は農夫に一つの祈りの言葉を教えました。それは、「主よ、私を憐れんで下さい」でした。この農夫はロシア全土を巡礼しながら、まじめに数え切れないほどこの祈りを口にしました。そしてとうとう、ある日、彼は一つのこと気づきました。祈りそのものが彼の口を離れて、彼の心の中にあることに気づいたのです。彼はそれについて、「それはまるで私の心臓の鼓動が祈りをしているようでした。絶えることなく祈っていたのです。それで、もう口で言うのは止めたのです。今はただ、私の心が語っていることを聞いているだけ

です」 —。私たちもこの奥義に至ることができるでしょうか。

今日は、アバ・アルセニウスとマカリウス、ルシウス、そしてロシアの名を知らぬ祈りの達人たちに学びました。特に、「逃れよ。鎮まれ。絶えず祈れ」の奥義を学びました。これらの話は「たとえ」としてお話しました。ですから、私たちも同じことをすべきであるとは言えません。けれども、この例に導かれて、私たちも自らの祈りの道を求めていきましょう。その時に、「逃れよ。鎮まれ。絶えず祈れ」を祈りの奥義としていきたいと思います。これまでお話したことの中で自分に親しく感じられることがあれば、どうか取り入れてみてください。ご清聴ありがとうございました。

【 朝 拝 】

讃美歌：新生讃美歌 19 番

聖 書：新約聖書 マルコによる福音書 第 1 章 9～11 節

説 教：『あなたは愛されている』

讃美歌：新生讃美歌 674 番

司会 大学宗主任 田島 卓

〔新約聖書 マルコによる福音書 第 1 章 9～11 節〕

そのころ、イエスはガリラヤのナザレから来て、ヨルダン川でヨハネから洗礼を受けられた。水の中から上がるとすぐ、天が裂けて“霊”が鳩のように御自分に降って来るのを、御覧になった。すると、「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という声が、天から聞こえた。

『あなたは愛されている』

学校法人西南学院理事長・院長、西南学院大学学長
G. W. バークレー

おはようございます。改めて、今回のお招きに対して心よりお礼申しあげます。皆さんとご一緒に今年度の修養会を守ることができ感謝しております。昨晩は、親睦も深まり、よく休まれたことを願っています。

実は、昨日の講話の前にこれからの話を先にしたら良かったという風に思っています。何故かというと、「祈り」への道のことについてだけではなく、私たち人間が皆共有していることについてであるからです。先ほど読んでいただいた聖書の箇所に基づいて、「あなたは愛されている」ことについてお話させていただきます。

さて、私たちは、今日生きている世界において、いろいろな課題や問題、恐れを抱えながら人生を送ろうとしています。日々の課題をこなしていくだけで力尽きてしまうこともあります。その力はどこにあるのでしょうか。その勇気はどこに見出せるのでしょうか。イエスに従う者にとっても、そのことは課題です。勇気を持って生きることはできるのでしょうか。

皆さんに一つの質問をさせてください。「あなたはどこから勇気を得ていますか」、また、「人生がとても難しくなった時、それでも進んでいく勇気をどこから得ていますか」――。

私が大学四年の時のことをお話したいと思います。その当時、私はいろいろなことに携わっていました。ぎっしり詰まった授業に加えて、学生会の会長までやっていました。この二つをやり続けるのはフルタイムの仕事を二つ持つようなものでしたが、これに加えて、週に4日間、夜の11時から翌朝の7時までアルバイトをしていました。

そんな私に向かって、ある日一人の教授が、「少しやり過ぎており、ストレス状態に落ち入っているのではないか」と声をかけてくれました。彼は私の好きな先生の一人でしたが、自分の研究室に私を呼んでくれました。先生は、私の話を聞いて、次のように言われました。「そんな君に『もっと本を読め』というのは最低のアドバイスだとは分かっているが、あえて、この本を読む必要があるだろう」――。そして、私の手に一冊の本を置いてくれました。それは、パウロ・ティリッヒという人の本で、タイトルは『Courage to Be』、日本語で「存在への勇気」でした。そのあと私はその本を開き、ページを追っていきましたが、何故か途中で止めることが出来ませんでした。ティリッヒは20世紀のアメリカでの著名な神学者の一人ですが、彼が語っていることは、私のその時の気持ちを完全に言い表していました。この本が、私に教えてくれたことは、「人が人としてあるためには勇気が必要である」ということでした。あの日以後、もう30年近くが過ぎました。これまで何度も何度も読み継いでい

ます。

実を言えば、私は今でも当時の私を引きずっています。私は、今でも未だに他人の期待に答えるために多くの時間を使っています。例えば、西南学院大学は教員の私に何を期待しているだろうか。ベタニヤ村教会は協力牧師として何を期待しているだろうか。親は長男の私に何を期待しているだろう。妻は、子供は…となりますね。それは現実です。しかし、それが人生の全てなのでしょうか。

私たちが生きている世界はどのようなところでしょうか。そこは、人が生まれた瞬間から死に至るまで「どうあるべきか」という期待が、私たちの外にあって形作られ、それが私たちを規制する世界です。その中においてティリッヒは次のように語ります。…何にも増して、私たちに必要とされているものは、自分の人生がどうあるべきかを自分以外の思惑や規制に絡め取られることなく、それを拒む勇気を持ち、自分がそうであるべき姿を生きる勇気をもつことである…。この本は20世紀の中頃に著されたのですが、今世紀の言葉としても未だ新鮮さを失っていません。

私たちが人生を生きる時、そこには二つの現実があります。その一つは、自分の生きる社会が要請するパフォーマンスに沿って生きるという現実です。そこでは、私たちはほとんどいつも、その人の行為、達成度、収入、影響力等などによって測られ、評価されます。

私の教えている大学では、去る9月の末に前期のテストがありました。学生にとって試験の基本的な目標は何でしょう。教える側がその科目について学生の達成度を評価しランク付けることに対応することですね。卒業後についてはどうでしょうか。どのように昇進していくのでしょうか。ほとんどは達成度に基づいてなされることでしょうか。かつて、私が大学で教え初めた頃、今は退職された先生が私を励まして下さったことを思い出します。先生はいつも、「もっと論文をお書きなさい。講師から助教授、教授への道が開けますよ」と諭されました。多分、どの世界でも、はしごを登るには、それなりのスタンダードと必須条件が満たされなくてはならないのでしょう。

それではこのような現実の只中で、私たちはどこで自らを生きる勇気を得るのでしょうか。自分のパフォーマンスが世間の期待や要請にマッチしない時。あるいは、自分自身をも失うほどに落ち込み、自分自身をさえ恥じ、自分の家族を、そして属しているグループをさえ恥じるような時。どこに私たちは勇気を得ることが出来るのでしょうか。

皆さんの中で、ある方々は今、子供たちの親であられます。(私もそうですが)私たちは時々自分は親としてやれているだろうか。自分の子供の行儀をみて、または成績を見て、あるいは行っている学校について、そのような思いが心を占めることはありませんか。ないとは思いますが、そして、それらについて自分の子供たちが「期待通り」であるならば、自分はなかなかの親であると思ひ込みます。

それではここで、最初の質問に戻りましょう。このような様々な社会の、また自分の内にある現実を前にして、私たちはそれを乗り越える勇気をどこに捜し求めることができるで

しょうか。これが第一です。

それでは、第二は何でしょうか。これは私たち全てに当てはまると言ってもいいものです。それは、人はたとえ外面的には成功者のように見えても、自分の内側には「自分はまだ十分ではない」と言うささやきを抱えています。もちろん何故そのような感じがするのかさえ理解できないままです。何故そう感じるかについて、一つの例をお話させてください。それは毎日目にする新聞広告と関係があります。これは別に学問的に十分な裏付けを取るまでにはなってはいませんが、私は今ひとつの調査をしています。それは新聞の折り込みチラシの内容です。あるチラシは別に問題はありませぬ。例えば、どこのスーパーが何のセールをしているかのチラシです。

しかし、あるチラシは別です。私が見る限り4割のチラシは、ダイエットに関係するものです。「このお茶を飲むと」とか、「このダイエット食品を食べ続けると」とか、「この漢方薬を飲んでおかげで」と宣伝します。そして、「あなたもこのようになれます」と書かれています。そして、成功した人の写真が必ず載っています。これは私たちに何を伝えるのでしょうか。例え体重が50kgだったとしても、まだ十分ではないという何かを植え付けます。「ステキ」だと誰かが設定した写真のようにならなければ、本当には幸せではないのだという「すりこみ」が入ります。

もう一つチラシの例をお話しましょう。我が家の広告のチラシの約半分はマンション関係です。(皆さんのところもきっとそうでしょう。)この広告は特に週末にまとめて入りますね。「こんな新しい設備の住宅があなたのものに!」と、次から次へと教えてくれます。裏を返せば、「今、あなたの住んでいるところはあなたにはふさわしくない」と言うメッセージをささやいていますね。「幸せはそのマンションに決めることで得られる」らしいです!そして、広告の中の家族は幸せそうな笑顔です。(多分、お金を払う前に写真を撮ったのでしょうか!)

その次に多い広告のチラシは車です。10~20%を占めます。これも、自分が今乗っている車をみずばらしく感じさせてくれます。「もし買い替えるなら、かっこよく、成功した人だと皆に思わせることができるでしょう」というメッセージがあります。

今や、世界は声を揃えて合唱しています。「今のままではだめ。今のままではきれいじゃない。そのままのあなたではイマイチ。そのままでは終わり。もしこれをしなければ…」これらの否定的なメッセージは絶え間なく鳴り続けますから、信じ込まされるのは簡単です。そしてここに「はまる」のはむしろ自然です。しかし、実は、それは自己否定に繋がっていきます。私は人生における最大のわなとなりうるものは、別に成功でも名声でも権力でもなく、じわじわと近づいてくる自己否定にあると考えるようになりました。

そして、実は、この自己否定こそ、私たちの魂にとって最も大きな課題です。それはどういう意味でしょうか。それは次の感情の中に表されています。私たちは次のように感じることはないでしょうか。「私を好ましいと思ってくれて注目してくれている人も、もし本当の私を知ったら、それでも愛してくれるのだろうか」――。私たちはこの問いの前にあります。

口にこそ出ませんが、心の奥の奥で自分を見下し、恥じていることが分かります。あるいは自分の家族、自分の属する集団を否定し、それを受容できていないのです。

先ほどお話したような、私達の外側にあって私達を規制しようという世間の思惑の中で、私達はそれに引きずられます。「それに沿わなければ」という自己批判と自己否定を自らの魂の中に押し込めていくのです。しかし、その底で私達は今朝のみ言葉の光に出会わされます。

今日の聖書の箇所の中で、「イエスが水から上がられた時、天からの声があった」とありました。そこで語られた言葉、この宣言は、実は、私たち一人ひとりに向けても「然り」であります。そう私は信じます。ご存知のように、新約聖書学者はイエスのバプテスマの必要性についてさまざまに論じます。私にとって最も説得性を持った必然性は、「イエスは全ての人と同じようになられた故である」という解釈です。そこに立つ時、イエスに向かって「あなたは私の愛する子」という言葉が語られた時、この言葉はイエスと共に私たち一人ひとりのものとして成就したのです。神が、「あなたは私の愛する子」と語られます。この言葉が私たちの存在の根底で、自分に向かって聞かれる時、私たちは自らが持つ自己否定、他人からの束縛、社会からの呪縛から解かれます。

神の言葉は、天から私たちの心の奥深い所に語りかけます。静かに、そしてはっきりと、「あなたは私の子、私の愛する子」とであると。神には、「もし、あなたが変われば」もなく、「もしこの世の求めるところに到達したその時には」と言うことは、ありえません。ただ今の自分を否定しないでいる者に、この言葉は成就します。神は愛される。この私を、このままで。自己嫌悪でも自己変革でもなく、今、あなたをその場で愛される。そして受容してください。

人には、しばしば、「これ以上は無理」という時があります。ありますね。「ベストを尽くしたのに十分ではなかった」という現実も生じます。孤独で、望みが絶たれたように思えるかも知れません。それまでの成功も、失敗の前には崩れたように思える時もあるでしょう。これらの事態が生じた時にはどうか、今日の言葉、神からの宣言、「あなたは私の愛する子」をご自身の内に聞いてください。

人の存在の根底でこの言葉が、今のあなたへの「承認と受容の言葉」となる時、私たちは全てを超えて、勇気を持って自分自身を生きていく者となれます――。

私たちの人生には不安や危険もあります。けれども、何よりもまことなることは、神が私達たちをあるがままで承認してくださいということです。この神の愛と、皆さんの人生が一步を踏み出されますようにと祈ります。

講師略歴

G. W. バークレー

(ギャーリ バークレー)

学校法人西南学院理事長・院長、西南学院大学学長

1955年7月17日生まれ

学歴

- 1977年 5月 米国サムフォード大学卒業 (B.A.)
- 1980年 6月 米国サザン・バプテスト神学校卒業 (M.Div)
- 1981年 3月 英国オックスフォード大学留学〔～1981年6月まで〕
- 1984年 5月 米国サザン・バプテスト神学校大学院博士課程修了 (Ph.D.)

職歴

- 1984年 5月 米国南部バプテスト連盟外国伝道局日本宣教団宣教師
〔～2002年8月まで〕
- 1987年 4月 西南学院大学神学部講師〔～1989年3月まで〕
- 1989年 4月 西南学院大学神学部助教授〔～1995年3月まで〕
- 1995年 4月 西南学院大学神学部教授〔～現在に至る〕
- 1996年 1月 西南学院大学神学部長〔～1997年6月まで〕
- 2003年 7月 西南学院大学宗教部長〔～2006年12月まで〕
- 2005年 7月 学校法人西南学院理事 (常任理事)・評議員〔～現在に至る〕
- 2006年 12月 西南学院大学学長〔～2014年12月まで〕
- 2012年 4月 学校法人西南学院院長〔～現在に至る〕
- 2015年 3月 学校法人西南学院理事長〔～現在に至る〕
- 2016年 4月 早緑子供の園園長〔～現在に至る〕
- 2018年 12月 西南学院大学学長〔～現在に至る〕

2019 年度

法人事務局宗教活動報告

2019年度 法人事務局宗教活動報告

1. 創立 133 周年記念式

(1) 創立記念式及び院長就任式

日 時 2019年5月15日(水) 9時30分
場 所 ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
司 式 斎藤英夫法人事務局長
参加者 246名

(2) 校祖墓前礼拝

日 時 2019年5月15日(水) 11時00分
場 所 北山キリスト教墓地
司 式 野村信宗教部長
説教者 阿部祐治牧師(日本基督教団泉高森教会)
説教題 『我らの国籍は天に在り』
参加者 53名

2. 第70回公開東北学院クリスマス

日 時 2019年12月13日(金) 18時00分
場 所 ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
司 式 野村信宗教部長
説教者 三輪地塩牧師(日本キリスト教会浦和教会)
説教題 『いと高き方の力があなたを包む』
参加者 394名

3. 東北学院職員クリスマス

(1) 礼 拝

日 時 2019年12月24日(火) 11時00分
場 所 ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
司 式 田島卓大学宗教主任
説教者 野村信宗教部長
説教題 『羊飼いたちへの告知』
参加者 203名

(2) 祝 会

日 時 2019年12月24日(火) 礼拝終了後
場 所 土樋キャンパス90周年記念館1階食堂 miraco
参加者 168名

4. 東北学院宗教協議会

(1) 第 71 回

日 時 2019 年 10 月 7 日 (月) 16 時 00 分～

場 所 土樋キャンパス 8 号館第 1 会議室

参加者 24 名

(2) 第 72 回

日 時 2020 年 3 月 16 日 (月) 15 時 30 分～

場 所 土樋キャンパス 8 号館第 1 会議室

◎キリスト教学校教育同盟関係

1. 東北・北海道地区協議会総会

日 時 2019 年 5 月 30 日 (木) 11 時 30 分～ 13 時 30 分

場 所 愛知県名古屋市 (学校法人名古屋学院大学)

参加者 野村信宗教部長、工藤彩絵子 (事務局)

2. キリスト教学校教育同盟第 107 回定時総会

日 時 2019 年 5 月 31 日 (金) 10 時 00 分～ 6 月 1 日 (土) 11 時 30 分

場 所 愛知県名古屋市 (学校法人名古屋学院大学)

参加者 松本宣郎理事長・院長、大西晴樹学長、野村信宗教部長、松井浩樹中学校・
高等学校宗教主任、工藤彩絵子 (事務局)

3. 教職員志願者ガイダンス [キリスト教学校教育同盟教職員後継者養成部会主催]

日 時 2019 年 6 月 20 日 (木) 15 時 00 分～ 16 時 35 分

場 所 東北学院大学土樋キャンパス押川記念ホール

参加者 13 名 (対象者 7 名、地域の方 2 名、講師・司会 3 名、その他の参加者 3 名)

4. 第 63 回事務職員夏期学校

日 時 2019 年 7 月 27 日 (土) 14 時 00 分～ 29 日 (月) 12 時 30 分

場 所 静岡県御殿場市 (日本 YMCA 同盟 東山荘)

参加者 菊地美希、多田夏海、大須賀達也、松田千津子 (実行委員)

5. 東北・北海道地区教育研究集会大学部会

日 時 2019 年 8 月 22 日 (木) 9 時 00 分～ 16 時 40 分

場 所 宮城県仙台市 (仙台ガーデンパレス)

当番校 宮城学院女子大学

参加者 松本宣郎理事長・院長、大西晴樹学長、野村信宗教部長、陶久利彦法学部
長、中沢正利工学部長、原田浩司大学宗教主任、工藤彩絵子 (事務局)

6. 第9回中堅事務職員リトリート

日 時 2019年8月22日(木)13時00分～23日(金)15時30分

場 所 東京都八王子市(大学セミナーハウス)

参加者 遠藤正春(研究機関事務課)、森谷徹(実行委員)

7. 第5回東北・北海道地区教育研究集会新任教師研修会

日 時 2019年9月9日(月)9時00分～16時30分

場 所 北海道札幌市(北星学園女子中学高等学校)

当番校 北星学園女子中学高等学校

参加者 阿部恒幸中学校・高等学校長、工藤彩絵子(事務局)

8. 第5回本部・地区事務局会議

日 時 2019年9月28日(土)12時30分～17時00分

場 所 東京都新宿区(一般社団法人キリスト教学校教育同盟 事務局会議室)

参加者 中田裕輔(総務課)、工藤彩絵子(事務局)

9. 東北・北海道地区教育研究集会中高部会

日 時 2019年10月17日(木)13時20分～19日(土)11時40分

場 所 宮城県仙台市(仙台ガーデンパレス及び尚綱学院中学校高等学校)

当番校 尚綱学院中学校・高等学校

参加者 松本宣郎理事長・院長、阿部恒幸中学校・高等学校長、岩上敦郎中学校・高等学校副校長、柴田隆一中学校・高等学校教諭、西間木順榴ヶ岡高等学校宗教主任、工藤彩絵子(事務局)

10. 第61回学校代表者協議会

日 時 2019年11月8日(金)17時00分～9日(土)16時30分

場 所 群馬県前橋市(学校法人共愛学園)

当番校 学校法人共愛学園

参加者 松本宣郎理事長・院長、阿部恒幸中学校・高等学校長

11. 東北・北海道地区協議会常置委員会(コロナウイルス対策のための中止・持ち回り審議に変更)(実施予定内容)

日 時 2020年3月27日(金)16時00分～18時30分

場 所 北海道札幌市(札幌ガーデンパレス)

以上

2019 年度

東北学院大学宗教活動報告

2019年度 東北学院大学宗教活動報告

東北学院宗教センター主任（宗教部長） 野村 信

東北学院宗教センター編「東北学院宗教活動報告書」の第1号の出版を嬉しく思います。内容的にはまだ昨年度までの大学の宗教活動報告書のスタイルと大きく変わってはいないのですが、それでも各設置学校の報告も掲載できるようになり大幅に前進しました。2019年度の大学の宗教活動は、それ以前と比べて大きな変化はありませんでしたが、少しずつ活気が増していると思います。2020年度は残念ながら、コロナウイルス感染拡大防止のために大学の授業が前期は遠隔となり、後期も制限下で進められています。多くの宗教活動も中止か、限定的ですが、それでも可能な範囲で精一杯取り組んでいます。困難な中での新たな出発となりましたが、心は高く上げて、良い日が来ることを楽しみ待ち望みましょう。



昨年、土樋キャンパス礼拝堂で練習する聖歌隊のメンバーたち

1. 教員組織

宗教部長	野村 信
書記	吉田 新
土樋担当	野村 信、田島 卓
多賀城担当	木村純二、原田浩司
泉担当	阿久戸義愛、吉田 新
総合人文学科長	川島堅二
キリスト教文化研究所所長	川島堅二
大学オルガニスト	今井奈緒子

2. 礼拝オルガニスト

土樋担当	今井奈緒子、渡辺真理、菅原淑子、長谷部真理子、大泉真理、今高和枝
多賀城担当	坂上芙美恵（前期）、亀井睦子（後期）、阿部和子、今高和枝、菅原淑子、小野なおみ、京極扶美恵
泉担当	小野なおみ、大泉真理、渡辺真理、今井奈緒子、加藤晶子、長谷部真理子
寄宿舍担当	
泉寄宿舍	日野百合子
泉女子寄宿舍	坂上芙美恵
旭ヶ岡寄宿舍	阿部和子

3. 大学礼拝【資料1】

大学礼拝	月～土曜日	10時25分～10時45分（土樋、多賀城、泉）
寄宿舍礼拝	月曜日	19時30分～20時00分（泉女子寄宿舍）
	火曜日	19時30分～20時00分（旭ヶ岡寄宿舍、泉寄宿舍）

年間総出席者数

<大学礼拝>

キャンパス	2019年度			2018年度			2017年度		
	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均
土樋(朝)	10,047	180	56	16,315	181	90	20,328	181	112
多賀城	18,993	180	106	22,107	181	122	24,729	180	137
泉	52,302	179	292	62,079	181	343	59,124	181	327
大学礼拝	81,342	539	151	100,501	543	185	104,181	542	192
寄宿舍	2,298	79	29	2,821	86	33			
合計	83,640	618	135	103,322	629	164			

[備考]・春季・秋季特別伝道礼拝、大学祭礼拝、大学クリスマス礼拝を含む。
・平均値の小数点以下四捨五入。

総回数 618 回〔3 キャンパス (539 回)・寄宿舍 (79 回)〕

— 礼拝司会者内訳 —

学外 (牧師) 304 回

学内 314 回

— 学内者内訳 —

理事長・学長、院長、キリスト者教員、学生など
64 回

宗教部関係者 250 回

— 宗教部関係者内訳 —

野村信宗教部長 35 回 (含大学祭礼拝)

阿久戸義愛大学宗教主任 30 回

木村純二大学宗教主任 30 回

田島卓大学宗教主任 20 回

原田浩司大学宗教主任 31 回

吉田新大学宗教主任 30 回

川島堅二総合人文学科長 31 回

今井奈緒子大学オルガニスト 6 回

中川郁太郎宗教音楽研究所特任講師
6 回

鐸木道剛総合人文学科教授 31 回 (含大学祭礼拝)

4. 春季宗教教育強調週間特別伝道礼拝

土樋キャンパス

2019 年 5 月 9 日 (木) 10 時 10 分～11 時 00 分 483 名出席

説教者 増田将平牧師 (日本基督教団青山教会)

多賀城キャンパス

2019 年 5 月 8 日 (水) 10 時 10 分～11 時 00 分 660 名出席

説教者 木村太郎牧師 (日本基督教団宇都宮教会)

泉キャンパス

2019 年 5 月 8 日 (水) 10 時 10 分～11 時 00 分 1,522 名出席

説教者 増田将平牧師 (日本基督教団青山教会)

5. 秋季宗教教育強調週間特別伝道礼拝

土樋キャンパス

2019年10月10日(木) 10時10分～11時00分 169名出席

説教者 田中文宏牧師(日本基督教団名古屋桜山教会)

多賀城キャンパス

2019年10月9日(水) 10時10分～11時00分 501名出席

説教者 柳谷雄介牧師(日本基督教団新生釜石教会)

泉キャンパス

2019年10月9日(水) 10時10分～11時00分 1,322名出席

説教者 田中文宏牧師(日本基督教団名古屋桜山教会)

6. 第31回泉キャンパスクリスマス

日時 2019年12月6日(金) 18時30分より(18時開場) 約350名参加

場所 泉キャンパス礼拝堂

司式者 阿久戸義愛大学宗教主任

奏楽者 今井奈緒子先生(大学オルガニスト)

説教者 瀬谷寛牧師(日本基督教団仙台東一番丁教会)

説教題 「幼子を拝みに来た者たち」

聖書 新約聖書 マタイによる福音書 第2章1節～12節

7. 大学クリスマス

土樋キャンパス

203名出席

日時 2019年12月12日(木) 15時00分より

場所 ラーハウザー記念東北学院礼拝堂

司式者 川島堅二総合人文学科長

奏楽者 長谷部真理子先生(礼拝オルガニスト)

説教者 棚村重行先生(東京神学大学特任教授)

説教題 「逃げなさい、キリストのもとへ」

聖書 新約聖書 マタイによる福音書 第2章13節～23節

多賀城キャンパス

525名出席

日時 2019年12月13日(金) 10時25分より

場所 多賀城キャンパス礼拝堂

司式者 阿久戸義愛大学宗教主任

奏楽者 菅原淑子先生(礼拝オルガニスト)

説教者 棚村重行先生(東京神学大学特任教授)

説教題	「クリスマスは危機の時」	
聖書	新約聖書マタイによる福音書第1章18節～25節、第2章13節～15節	
泉キャンパス		878名出席
日時	2019年12月12日(木)10時25分より	
場所	泉キャンパス礼拝堂	
司式者	野村信宗教部長	
奏楽者	渡辺真理先生(礼拝オルガニスト)	
説教者	棚村重行先生(東京神学大学特任教授)	
説教題	「クリスマスは危機の時」	
聖書	新約聖書マタイによる福音書第1章18節～25節、第2章13節～15節	

8. 第24回スプリング・カレッジ

土樋キャンパス開催

日時	2019年4月5日(金)14時30分～16時00分
場所	土樋キャンパスホーイ記念館(2階)H203教室
内容	土樋キャンパス所属のキリスト者等推薦学生へのガイダンス
開会礼拝	原田浩司大学宗教主任
挨拶	野村信宗教部長

キリスト者等推薦学生の心得・義務の説明 原田浩司大学宗教主任

- ①年間宗教行事への参加(必須)について
- ②大学礼拝への出席について
- ③聖書研究会か聖歌隊のいずれかへの加入について
- ④出席教会の確定と報告について
- ⑤その他(カルト等への注意)

学生4名、教育職員2名、事務職員2名 計8名参加

泉キャンパス開催

日時	2019年4月13日(土)14時40分～18時30分
場所	泉キャンパス礼拝堂(1階)小礼拝堂、会議室
内容	泉キャンパス所属のキリスト者等推薦学生へのガイダンス
開会礼拝	田島卓大学宗教主任
挨拶	野村信宗教部長

キリスト者等推薦学生の心得・義務の説明 吉田新大学宗教主任

- ①年間宗教行事への参加(必須)について
- ②大学礼拝への出席について
- ③聖書研究会か聖歌隊のいずれかへの加入について

④出席教会の確定と報告について

⑤その他（カルト等への注意）

学生 19 名、教育職員 6 名、事務職員 2 名 計 27 名参加

9. 第 45 回サマー・カレッジ

日 時 2019 年 8 月 5 日（月）～8 月 6 日（火） 1 泊 2 日

場 所 アクティブリゾート宮城蔵王

主 題 「現代と怒り～地の塩・世の光として生きる～」

講 師 赤井慧先生（尚綱学院中学校・高等学校 聖書科主任）

参加者 学生 26 名 教職員 9 名（宗教部長、大学宗教主任、事務局）

計 35 名参加

10. 第 64 回教職員修養会

日 時 2019 年 9 月 3 日（火）～9 月 4 日（水） 1 泊 2 日

場 所 アクティブリゾート宮城蔵王

主 題 「達人に学ぶ祈りの奥義」

講 師 G. W. バークレー先生（学校法人西南学院理事長・院長、西南学院大学学長）

参加人数 123 名

11. キリスト者等推薦入学生との懇談会

日 時 2019 年 7 月 2 日（火） 泉キャンパス

学生 20 名ほか 計 25 名参加

2019 年 12 月 3 日（火） 泉キャンパス

学生 15 名ほか 計 20 名参加

12. 礼拝奉仕者懇談会（事務職員）

土樋キャンパス 2019 年 5 月 23 日（木） 11 時 00 分～ 11 時 20 分

大西晴樹学長、原田浩司大学宗教主任ほか 計 27 名参加

多賀城キャンパス 2019 年 5 月 21 日（火） 11 時 00 分～ 11 時 20 分

大西晴樹学長、木村純二大学宗教主任ほか 計 27 名参加

泉キャンパス 2019 年 6 月 4 日（火） 11 時 00 分～ 11 時 20 分

大西晴樹学長、川島堅二総合人文学科長ほか 計 17 名参加

13. 礼拝オルガニスト懇談会

日 時 2020年2月17日(月) 11時00分～13時00分
場 所 土樋キャンパス8号館第3会議室
参 加 32名(礼拝オルガニスト他)

14. 礼拝司会者(牧師)懇談会

日 時 2020年2月17日(月) 18時00分～20時00分
場 所 仙台国際ホテル3階「桜の間」
参 加 40名(牧師、学内役職者他)

15. 宗教部会

開催日 2019年4月5日(金)、5月9日(木)、6月13日(木)、7月11日(木)、
9月26日(木)、10月17日(木)、11月28日(木)
2020年1月16日(木)、2月17日(月) 計9回

16. 大学宗教主任会

開催日 2019年5月9日(木)、6月6日(木)、6月14日(金)、8月15日(木)
2020年1月9日(木)、1月30日(木) 計6回

17. 聖書研究会

土樋キャンパス	吉田 新	聖書に学ぶ生きるヒント
	田島 卓	旧約聖書に親しむ
	原田 浩司	キリスト教の基礎知識
	川島 堅二	バイブルトーク
	野村 信	希語羅語聖書読書会
多賀城キャンパス	原田 浩司	キリスト教の基礎知識
	長島 慎二	賛美と聖書の学び
泉キャンパス	木村 純二	聖書の学びと祈りの時間
	鐸木 道剛	キリスト教と物質文化
	阿久戸義愛	キリスト教と現代
	野村 信	み言葉を慶び、歌う

18. 宗教部予算会議

日 時 2019年11月6日(水) 16時30分～17時30分
議 題 「2019年度補正予算及び2020年度予算案について」
場 所 泉キャンパス礼拝堂地下会議室
参 加 野村信宗教部長、大学宗教主任、各キャンパス事務担当者

19. 宗教部自己点検評価委員会

(1) 2019年度第1回

日 時 2019年10月3日(木) 15時00分～16時00分
主 題 「2019年度(前期)宗教活動について」
「2019年度(後期)宗教活動予定について」
場 所 土樋キャンパス本館会議室

(2) 2019年度第2回

日 時 2020年2月20日(木) 15時00分～17時00分
主 題 「2019年度東北学院大学宗教活動報告について」
「2020年度東北学院大学宗教活動予定について」
場 所 土樋キャンパス本館会議室

20. 青山学院大学・東北学院大学合同チャプレン代表者会

2019年9月21日(土) 野村宗教部長：青山学院大学訪問

21. 宗教部研修会

日 時 2019年7月11日(木) 16時00分～19時30分
場 所 東北学院サテライトステーション会議室
発 題 「教養としてのキリスト教教育」
発題者 木村純二大学宗教主任、吉田新大学宗教主任
参加者 松本宣郎理事長・院長、野村信宗教部長、大学宗教主任、
川島堅二総合人文学科長、総務部長、総務課長ほか 計16名

22. 第24回キリスト者教員研修会

日 時 2020年1月9日(木) 14時00分～19時30分
場 所 土樋キャンパス8号館第1会議室
主 題 「大学礼拝について」
発題者 野村信宗教部長、原田浩司大学宗教主任
参 加 教員13名、職員3名 計16名

23. 大学宗教委員会

日 時 2020年3月6日(金) 11時00分
場 所 土樋キャンパス 本館会議室

24. 学長招待卒業生懇談会

日 時 2020年3月12日(木) 12時00分～13時00分
場 所 土樋キャンパス8号館第1会議室
出 席 大西晴樹学長、卒業予定者、大学宗教主任ほか

25. 『大学礼拝(チャペルニュース)』

145号「秋号」、146号「クリスマス特集号」、147号「入学・進級号」

26. 『キリスト教活動のハンドブック』

2020年3月発行

27. 『礼拝説教集』

第24号(2020年3月末日発行)

28. 『東北学院大学宗教活動報告書』

第20号(2019年8月31日発行)

29. 卒業記念礼拝

日 時 2020年3月24日(火) 11時00分
説教者 野村信宗教部長
説教題 「Life Light Love」

30. その他

礼拝堂管理、図書資料受入、調査回答

【資料 1-1】

過去の礼拝出席数

年度	2019			2018			2017			2016		
	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均
土樋朝	10,047	180	56	16,315	181	90	20,328	181	112	15,156	180	84
多賀城	18,993	180	106	22,107	181	122	24,729	180	137	17,094	180	95
泉	52,302	179	292	62,079	181	343	59,124	181	327	53,352	180	296
土樋夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	835	32	26
総計	81,342	539	151	100,501	543	185	104,181	542	192	86,437	572	151

年度	2015			2014			2013			2012		
	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均
土樋朝	18,285	181	101	17,033	180	95	13,162	181	73	26,593	181	147
多賀城	34,784	181	192	39,514	178	222	31,548	181	174	40,629	181	224
泉	73,112	181	404	67,264	180	374	53,489	181	296	61,049	181	337
土樋夜	820	32	26	1,147	33	35	1,321	34	39	1,528	31	49
総計	127,001	575	221	124,958	571	219	99,520	577	172	129,799	574	226

年度	2011			2010			2009			2008		
	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均
土樋朝	23,034	168	137	15,540	180	86	5,400	153	35	10,718	156	69
多賀城	39,463	166	238	24,007	182	132	39,723	160	248	35,769	162	221
泉	57,805	168	344	63,104	180	351	45,755	154	297	41,359	157	263
土樋夜	1,484	28	53	2,091	32	65	1,301	26	50	3,594	28	128
総計	121,786	530	230	104,742	574	182	92,179	493	187	91,440	503	182

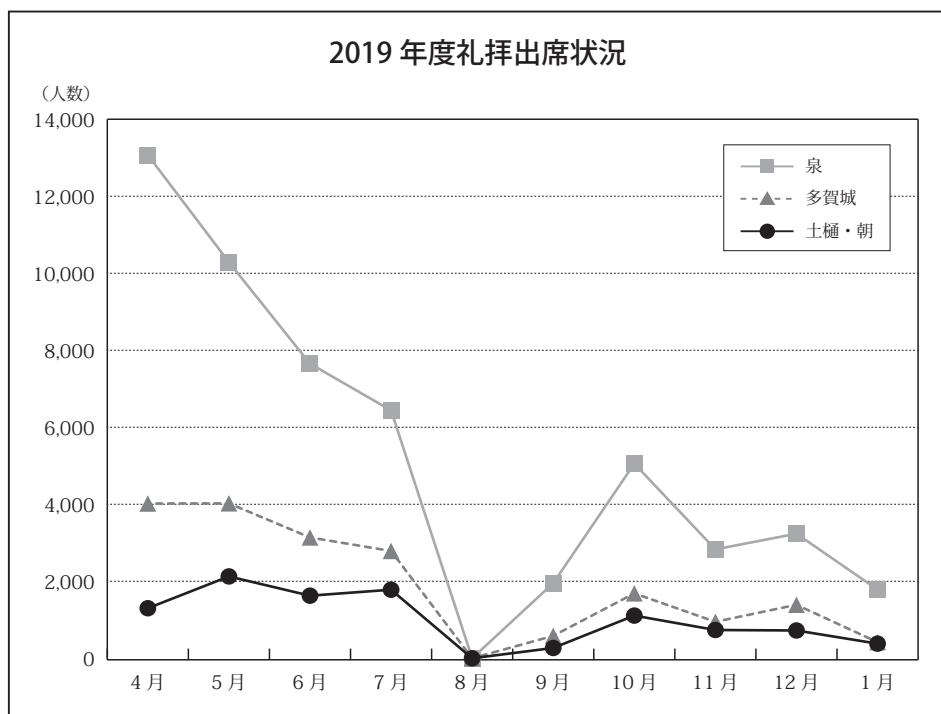
年度	2007			2006			2005			2004		
	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均
土樋朝	11,527	168	69	5,481	164	33	6,911	166	42	10,003	165	61
多賀城	42,028	177	237	36,153	177	204	38,495	179	215	39,093	178	220
泉	52,933	156	339	55,303	165	335	62,951	167	377	66,259	165	402
土樋夜	3,985	30	133	4,337	30	145	4,059	28	145	6,655	28	238
総計	110,473	531	208	101,274	536	189	112,416	540	208	122,010	536	228

年度	2003			2002			2001			2000		
	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均
土樋朝	11,148	158	71	7,844	157	50	7,908	161	49	8,328	166	50
多賀城	32,776	172	191	42,183	174	242	43,344	173	251	34,880	173	202
泉	65,973	159	415	66,268	158	419	70,503	162	435	81,447	166	491
土樋夜	6,923	30	231	7,679	27	284	10,325	31	333	7,419	29	256
総計	116,820	519	225	123,974	516	240	132,080	527	251	132,074	534	247

【資料 1-2】

2019 年度礼拝出席状況 年度統計

月	土樋・朝	多賀城	泉	土樋・夜	3 キャンパス合計
4 月	1,300	4,019	13,070	0	18,389
5 月	2,126	4,024	10,288	0	16,438
6 月	1,626	3,138	7,651	0	12,415
7 月	1,781	2,787	6,438	0	11,006
8 月	0	0	0	0	0
9 月	268	583	1,951	0	2,802
10 月	1,109	1,686	5,055	0	7,850
11 月	735	948	2,829	0	4,512
12 月	722	1,390	3,236	0	5,348
1 月	380	418	1,784	0	2,582
計	10,047	18,993	52,302	0	81,342



2019 年度

東北学院大学研究ブランディング事業
「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」
水曜礼拝—大学公開礼拝—実施報告

東北学院大学研究ブランディング事業「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」
2019年度水曜礼拝—大学公開礼拝— 実施報告

東北学院大学教授 鐸木 道剛

水曜公開礼拝は、月に一度、第3水曜日の夜6時半から行われる市民への公開礼拝で、2017年4月以来実施している。2016年秋に採択された文科省の私立大学研究ブランディング事業の一環として、すなわち建学の精神とそのプレゼンスを地域で高めるためスタートした。礼拝は、大学礼拝と同じく説教中心の30分で、20分の大学礼拝とは違って、讃美歌は聖書朗読前後で2曲歌い、オルガンによる前奏と後奏も長めの時間をとっている。説教も学長院長先生をはじめ、学内の教員有志だけでなく、退職された名誉教授や、招聘したランカスター神学校教授、また日本滞在中のドイツの神学者にもお願いした。礼拝の後は、約30分の音楽による賛美で、本学礼拝オルガニストの独奏、音楽教員による独唱、宗教部聖歌隊、グリークラブのOB、教職員聖歌隊の合唱により、また外部から男声四重唱団や女声声楽家をお招きした。



第25回水曜礼拝 2019年9月18日
東京藝術大学教授 菅英三子先生の独唱

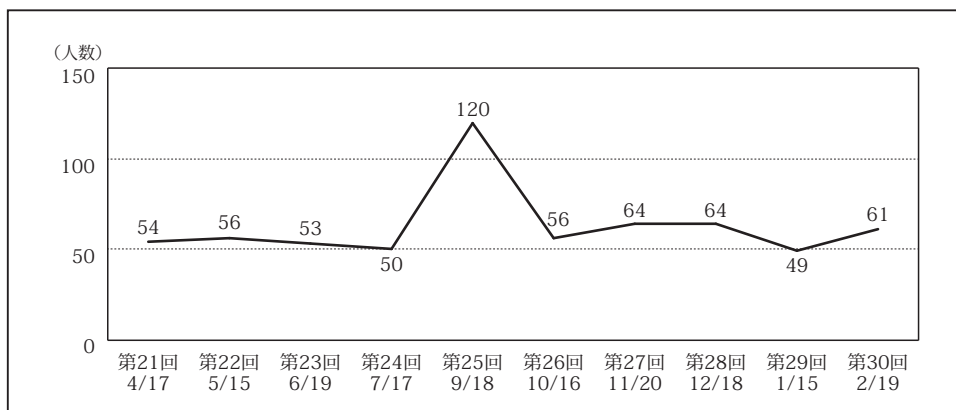


第26回水曜礼拝 2019年10月16日
ミュンヘン大学名誉教授 グラフ先生の説教



第30回水曜礼拝 2020年2月19日
教職員聖歌隊の合唱

1. 参加者推移（第21回～第30回）



2. 水曜礼拝実施内容（毎月第3水曜日 18時30分～19:30、会場：ラーハウザー記念東北学院礼拝堂）

- ①第21回 日時 2019年4月17日（水） 18時30分～19時30分
 礼拝 説教：野村信（本学文学部教授、宗教部長）
 奏楽：小野なおみ（本学礼拝オルガニスト）
 礼拝後 合唱：グリークラブOB合唱団 参加者 54人
- ②第22回 日時 2019年5月15日（水） 18時30分～19時30分 ※英語礼拝
 礼拝 説教：ランダル・ザッカマン
 （ランカスター神学校講師・ノートルダム大学名誉教授）
 奏楽：小野なおみ（本学礼拝オルガニスト）
 礼拝後 合唱：東北学院大学宗教部聖歌隊、グリークラブ、キャロラーズ
参加者 56人
- ③第23回 日時 2019年6月19日（水） 18時30分～19時30分
 礼拝 説教：出村彰（本学名誉教授・学校法人宮城学院名誉理事）
 奏楽：小野なおみ（本学礼拝オルガニスト）
 礼拝後 男声四重唱：モリゴー・フォー（グリークラブ・聖歌隊OB）
 朗読：松田千津子（本学就職キャリア支援課職員）
参加者 53人
- ④第24回 日時 2019年7月17日（水） 18時30分～19時30分
 礼拝 説教：鐸木道剛（本学文学部教授）
 奏楽：大泉真理（本学礼拝オルガニスト）
 礼拝後 演奏：オルガンによる讃美歌演奏 大泉真理（同上）
 朗読：松田千津子（本学就職キャリア支援課職員）
参加者 50人

- ⑤第25回 日 時 2019年9月18日(水) 18時30分～19時30分
 礼 拝 説 教：大西晴樹(本学学長)
 奏 楽：今井奈緒子(本学教養学部教授)
 礼拝後 独 唱：菅英三子(東京藝術大学教授)
 オルガン：今井奈緒子(同上) 参加者 120人
- ⑥第26回 日 時 2019年10月16日(水) 18時30分～19時30分 ※英語礼拝
 礼 拝 説 教：フリードリッヒ・ヴィルヘルム・グラーフ
 (ミュンヘン大学名誉教授)
 奏 楽：小野なおみ(本学礼拝オルガニスト)
 礼拝後 演 奏：リコーダー 曾根レイ(総合人文学科2年) 参加者 56人
 通奏低音 門脇壮(総合人文学科4年)
- ⑦第27回 日 時 2019年11月20日(水) 18時30分～19時30分
 礼 拝 説 教：田島卓(本学文学部講師)
 奏 楽：小野なおみ(本学礼拝オルガニスト)
 礼拝後 作 曲：鈴木雅光(東北学院中学校・高等学校教諭)
 わがこゝろ：小野なおみ(同上) 参加者 64人
- ⑧第28回 日 時 2019年12月18日(水) 18時30分～19時30分
 礼 拝 説 教：川島堅二(本学文学部教授)
 奏 楽：小野なおみ(本学礼拝オルガニスト)
 礼拝後 合 唱：メサイア 東北学院大学宗教部聖歌隊4年生 参加者 64人
- ⑨第29回 日 時 2020年1月15日(水) 18時30分～19時30分
 礼 拝 説 教：原田浩司(本学文学部准教授)
 奏 楽：小野なおみ(本学礼拝オルガニスト)
 礼拝後 合 唱：グリークラブOB合唱団 参加者 49人
- ⑩第30回 日 時 2020年2月19日(水) 18時30分～19時30分
 礼 拝 説教者：松本宣郎(本学院院长)
 奏楽者：小野なおみ(本学礼拝オルガニスト)
 礼拝後 合 唱：東北学院教職員聖歌隊 参加者 61人

2020年度平均参加者数(第21回～第30回) 62.7人

2019 年度

東北学院中学校・高等学校宗教活動報告

2019年度 東北学院中学校・高等学校宗教活動報告

東北学院中学校・高等学校 聖書科 常勤講師 遠藤 尚幸

2019年度、私たちは礼拝を土台とし、聖書の言葉に聴きながら、教育活動を続けてきました。生徒、教職員がともに集う毎朝の礼拝はもちろんのこと、毎週火曜日に行われる朝の祈禱会では、詩編の言葉に聴き、祈りを持ってその一年の歩みを続けてきました。キリスト教青年会の諸活動・修養会、生徒の保護者の皆様と共に聖書を学ぶ会、すべてがただ神様の栄光が現れるようにとの思いを持ちながら、過ごした一年でした。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、礼拝堂に集まることや、集会を持つことが困難な状況が続いています。振り返れば、昨年度の歩みが、いかに恵みの時であったかを思われます。また再び、様々な活動を活発に行える時を覚えながら、日々の礼拝を中心に（現在は放送での礼拝を続けています）、神様と共にある教育活動を続けていきたいと願っています。

東北学院中学校・高等学校 キリスト教青年会の様子



震災遺構・旧野蒜駅ホームにて



宮城県志津川高等学校にて
現職の教員の方から、町の被災についての話を伺う



宮城県志津川高等学校震災資料室にて



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館を見学

1. 礼 拝

毎朝8時25分から45分までの20分間、中学1年より高校3年までの全生徒並びに教員でささげる。テキストはマタイによる福音書を連続講解とする。また、学校礼拝と共に教会の主日礼拝出席を奨励し、年4回の教会出席、若しくは学校礼拝レポートを課題としている。学校礼拝司会は、基本的に月曜日、松井宗教主任 火曜日・岩上副校長 水曜日・木曜日・金曜日・土曜日はキリスト者教員、その他外部より聖書科非常勤講師、教会牧師、宣教師、半期ごとに榴ヶ岡高校宗教主任に礼拝を担当していただく。

2. 授 業

各学年週1時間、必修科目として実施。キリスト教の基礎知識、価値観、歴史を学び、人格形成にも配慮しつつ、授業を展開することをねらいとしている。担当教員は以下の通りである。

学 年	担 当 者	主 な 内 容
中学1年	遠藤尚幸	キリスト教入門
中学2年	瀬谷 寛	新約聖書入門
中学3年	田中信矢	旧約聖書入門
高校1年	松井浩樹・遠藤尚幸	旧約聖書Ⅱ・3要文
高校2年	遠藤尚幸・田中信矢	キリスト教の歴史Ⅰ
高校3年	松井浩樹・遠藤尚幸	キリスト教の歴史Ⅱ

3. 早天祈祷会

毎週火曜日、朝7時45分から7時55分まで実施。朝の礼拝で歌う讃美歌を歌い、1か月交代で聖書科教員が詩編を交読、短く奨励、参加者で祈祷・主の祈りをささげる。主に宗教部の教員が参加。平均出席4名。

4. キリスト教青年会

春の青年会修養会 2020年3月26日(木)～27日(金)於 ニュー泊崎荘(南三陸町)
講 師：松井浩樹、鈴木雅光
フィールドワーク：「震災を学ぶ～大川小学校から大船渡津波伝承館」

5. 共に聖書を学ぶ会

年3回、保護者有志と宗教部教師による聖書の学びである。奨励は松井宗教主任と外部講師（クリスマス会）が担当する。平均出席30名（保護者27名、教員3名）。

回	期 日	聖 書	奨 励	司 会
242	10月11日	ルカ 15:11-24	遠藤 尚幸	鈴木 雅光
243	12月2日	詩編 150:1-6	小野なおみ	松井 浩樹

6. 行 事

- 宗教改革記念礼拝 2019年10月31日（木）
平賀真理子先生（東北学院大学非常勤講師）
- クリスマス月間 2019年12月2日（月）～12月24日（火）
岩上副校長、松井宗教主任、遠藤常勤講師、エドワーズ宣教師
マッカーリー宣教師、名越教諭、井口教諭、橋本教諭、高田教諭
平賀真理子先生（東北学院大学非常勤講師）、西間木榴ヶ岡高校宗教主任
- クリスマス礼拝 2019年12月24日（火）
田中信矢先生（南光台キリスト教会牧師・本校聖書科講師）
クリスマス献金 164,704円
（仙台キリスト教育児院 81,935円、小百合園に 81,935円を送金、
別途 834円送金手数料）
- 高校3年卒業説教 2020年1月14日（火）
瀬谷寛先生（仙台東一番丁教会牧師・本学非常勤講師）
- 寄宿舎卒業礼拝・祝会 2020年2月29日（土）松井宗教主任
- 高 校 卒 業 式 2020年3月2日（月）
- 東日本大震災追悼礼拝 2020年3月11日（水）松井宗教主任
- 2 学 期 終 業 式 2020年3月18日（水）
- 中 学 校 卒 業 式 2020年3月19日（木）

2019 年度

東北学院榴ヶ岡高等学校宗教活動報告

2019年度 東北学院榴ヶ岡高等学校宗教活動報告

東北学院榴ヶ岡高等学校 宗教主任 西間木 順

「心を一つにし思いを一つにして、固く結び合いなさい。」(I コリ 1:10) を年間聖句として掲げ、礼拝を中心としたキリスト教教育を行ってきた。

1. 毎朝捧げる礼拝では、生徒は大きな声で讃美歌を歌い、主の祈りを祈る。
礼拝の中で主の祈りを祈るのは本校の伝統である。生徒は礼拝を大切にしている。
2. 特別礼拝（イースター、ペンテコステ、宗教改革記念日、クリスマス）は、宗教委員の生徒が司会、聖書朗読を担当している。またクリスマス礼拝では、奏楽も生徒が担当している。
3. 「ハレルヤコーラス」を全員が歌えるようにと願いから、クリスマス礼拝では「ハレルヤコーラス」の全校合唱を行っている。泉キャンパス礼拝堂に響き渡る「ハレルヤコーラス」の全校合唱は圧巻である。

今後とも、「聴く、祈る、讃美する」学校として礼拝をささげていきたい。

榴ヶ岡礼拝堂とクリスマス礼拝の様子



榴ヶ岡礼拝堂



榴ヶ岡クリスマス礼拝

1. 年間聖句 主題「共同体としての学校」

「心を一つにし思いを一つにして、固く結び合いなさい。」

コリントの信徒への手紙一 1章 10節

①礼拝する共同体 ②共に学ぶ共同体

目標 キリスト教主義に基づき人格を陶冶する。

①隣人への愛の実践と感謝の心を育くむ ②聴く・祈る・歌う学校へ

2. 礼 拝 8時40分～8時55分 (15分)

参加者：全教職員、全生徒

テキスト：マタイによる福音書の連続講解

司 会：(学内) 湯本良次校長、西間木順宗教主任、後藤昌男教諭、最上巖教諭

(牧師) 西川鉄也牧師 (日本基督教団仙台松陵教会)

中本純牧師 (日本基督教団仙台東六番丁教会)

奏 楽：最上巖教諭

3. 早天祈祷会 毎週水曜日8時00分～8時15分

宗教主任の司会で、讃美歌を歌い、「詩編」を輪読し、参加者で祈祷をささげる。生徒2名出席

4. 授 業

各学年週1時間、必修科目として実施。

学年・コース	使用テキスト	担 当 者
1 学年 (全8クラス)	『キリスト教とは何か』 (含「東北学院の建学の精神・歴史」)	西間木順宗教主任
2 学年 (8クラス)	『旧約聖書を読もう』	西川鉄也牧師 (3クラス) 中本 純牧師 (3クラス) 西間木順宗教主任 (2クラス)
3 学年 (全9クラス)	『旧約聖書を読もう』 『新約聖書を読もう』他	西間木順宗教主任

※3学年：文I (1クラス)を除き、2クラス合同授業
評価には、教会礼拝出席及び課題(レポート)を含む。

5. 特別礼拝・行事

- 後期始業式 9月24日(火)
- 宗教改革記念日礼拝 10月31日(木) 説教者 佐々木哲夫先生(前東北学院院長)
- クリスマス週間 12月9日(月)～23日(月)
- 遠藤尚幸先生(東北学院中学校・高等学校聖書科)
- 中本純牧師(日本基督教団仙台東六番丁教会)
- 野村信先生(東北学院大学宗教部長)
- 西川鉄也牧師(日本基督教団仙台松陵教会)
- 長尾厚志牧師(日本基督教団仙台ホサナ教会)
- 阿部祐治牧師(日本基督教団泉高森教会)
- 大久保直樹先生(宮城学院中学校・高等学校教頭・宗教主事)
- 松井浩樹先生(東北学院中学校・高等学校宗教主任)
- 中家契介牧師(日本キリスト教会仙台黒松教会)
- クリスマス礼拝 12月24日(火) 於 東北学院大学泉キャンパス礼拝堂
説教者 瀬谷寛牧師(日本基督教団仙台東一番丁教会)
- 卒業礼拝 1月24日(金) 4校時目 対象 3学年
説教者 松本宣郎先生(東北学院理事長・院長)
- 第59回卒業式 3月2日(月) 於 東北学院大学泉キャンパス礼拝堂
- 3.11東日本大震災を覚えて 3月11日(水) 特別プログラム
- 終業式 3月24日(火)

6. キリスト教学校教育同盟関係

- 東北北海道地区中高部会教育研究集会 参加者 宗教主任
学校代表者会議 参加者なし

7. 聖書の学びの会

- 対象：青山学院大学、国際基督教大学への推薦希望者他 参加者2名

8. ボランティア

- 生徒会：ノーモア注射～希望の本プロジェクト／エコキャップ回収
音楽部：老人ホームでのコンサート／ありのまま舎帯封糊付け作業

9. 宗教部 構成メンバー (敬称略)

- 部長：宗教主任・1学年副担任 西間木 順
1学年：藤田咲子、佐藤美穂 2学年：伊勢洋一 3学年：最上巖、館内彩

2019 年度

東北学院幼稚園宗教活動報告

2019年度 東北学院幼稚園宗教活動報告

東北学院幼稚園 園長 島内 久美子

東北学院幼稚園の宗教活動（教育）の中心は礼拝にあります。幼稚園で初めてキリスト教に出会う子ども達は、日々の礼拝の中で少しずつ神様の愛を知り、いつの間にか「お休みの友だちが早く治りますように」「神さま、お天気にしてくれてありがとうございます。」と自ら祈るようになります。その心を育むもう一つの要因として自然に恵まれた広い園庭での生活があります。四季折々の姿を見せる木々や小さな生き物を目にし、触れることで聖霊の働きを感じ自分たちも生かされている一人であることを知り、神様への畏敬の念と感謝の心が育まれていきます。

「このお祈りをイエス様のお名前を通してお聞き下さい。」と手を組み祈る子ども達の姿を見る教師もまた、子どもたちをイエス様へと導く大切な使命を神様から与えられていることを実感し、キリスト教教育の研鑽に励んでいます。

次年度も子ども達と共に祈りながら、キリスト教教育の歩みを進めてまいりたいと思いません。



2019.6 花の日礼拝



2019.11 感謝祭礼拝
松本前理事長のお話真剣に耳を傾ける子どもたち

1. 年間主題

ことばに満たされて～ひびきあう～

2. 年主題聖句

「愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、
わたしたちも互いに愛し合うべきです。」
(ヨハネの手紙Ⅰ 4章 11節)

3. 礼 拝

合同礼拝 毎週金曜日(10時20分～10時50分)

クラス礼拝 月曜日～木曜日(10時15分～10時30分)

4. 行 事

各学年週1時間、必修科目として実施。

4月 9日(火)	1学期始業日	11月22日(金)	感謝祭
4月10日(水)	入園式	12月18日(水)	クリスマス
4月12日(金)	イースター	12月20日(金)	2学期終了日
6月 7日(金)	花の日	1月14日(火)	3学期始業日
7月19日(金)	1学期終了日	3月16日(月)	卒園式
8月26日(月)	2学期始業日	3月19日(木)	修了日

5. その他

①園児対象

- ・聖書物語の絵本を通しての宗教教育
- ・聖句入り絵カード帳による宗教教育

②保護者対象

- ・月刊新聞「ともに育つ」配付(キリスト教保育連盟発行)
- ・クリスマス準備会

2019年12月2日(月) 於:多賀城キャンパス礼拝堂
講話 大学宗教主任 阿久戸 義愛先生(参加者110名)

③園児・保護者対象

- ・クリスマスコンサート 於：多賀城キャンパス礼拝堂
2019年12月7日(土)…参加者100名
パイプオルガン演奏：阿部 和子氏
独唱：中川 郁太郎氏(バリトン) ピアノ：菊池 晏生氏

④教師対象

- ・朝拝(8時20分～8時30分)
- ・キリスト教講話
2019年7月22日(月) 講師：宗教部長 野村 信先生
2020年1月10日(金) 講師：大学宗教主任 吉田 新先生
- ・月刊誌「キリスト教保育」個人購入(キリスト教保育連盟発行)
- ・聖書を学ぶ会…キリスト教保育雑誌「聖書に聴く」を輪読、各自の感想(年間8回)

●研修会：キリスト教保育連盟東北部会主催

【2019年5月31日(金)～6月1日(土)】 於：宮城県秋保「岩沼屋」

総会・研修会(2名参加)

講演Ⅰ：「子どものすこやかな成長を願う私たち」

講 師：清水 美穂氏(日本バプテスト深川教会牧師)

講演Ⅱ：「キリスト教保育におけるキリストの位置づけ」

講 師：サム・マーチー氏(尚絅学院大学特任講師)

【2019年8月8日(木)～9日(金)】 於：宮城県作並「岩松旅館」

夏季研修会(3名参加)

テーマ：「子どもと絵本」

講師：藤本 朝巳氏(東洋英和女学院大学大学院講師)

【2019年10月19日(土)】

宮城地区研修会(1名参加)

テーマ：「クリスマスってなあに」

講師：木村 章子氏(向山こども園園長)

【2019年10月27日(日)～28日(月)】 於：福島県穴原「吉川屋」

代表者会(1名参加)

講演：「教会とキリスト教教育の豊かな関係性を考える」

講師：大橋 邦一氏(静岡英和女学院中学校・高等学校校長)

東北学院 「宗教活動報告書」

第1号（2019年度）

発行日 2020年10月1日

発行責任者 宗教センター所長 大西 晴樹

編集責任者 宗教センター主任 野村 信

出版社 株式会社佐々木印刷所

問い合わせ先 東北学院宗教センター

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1の3の1

電話 022-264-6558